

ご挨拶

この度、自民党（練馬区議会）の幹事長を来年6月まで務めることになりました。

新型コロナウイルス感染症の影響下、区議会としても区民お一人に10万円の特別給付金への対応方やリーマン・ブラザーズショックを超えると言われる、景気の低迷への対応等山積する諸課題に対し、区長部局に対し地域の皆様の意見要望を率直にぶつけていきたいと存じます。

どうぞ、引き続きのご支援ご協力をお願いします。



藤井たかし

練馬区議会議員



議会運営委員会 委員長

特別委員会 交通対策等特別委員会 委員

各種委員会 都市計画審議会 委員

土地開発公社評議員会 委員

常任委員会 企画総務委員会 委員

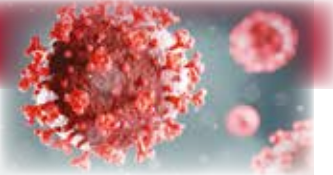
ご相談は… 藤井たかし 事務所

〒178-0065 練馬区西大泉 3-29-20

Tel : 5905-0533 Tel・Fax : 5947-3330



コロナに想う。



ノーベル文学賞受賞者のアルペール カミュのペストが重版されています。

感染症ペストの怖ろしさ、都市封鎖における人間模様、人々の葛藤など百年経ても色褪せない作品です。百年前にパンデミックになった、スペイン風邪の流行が新聞テレビで取り上げられています。全世界で4000万～5000万人の方々が亡くなったといわれており、当時の遺伝子をシベリアの永久凍土に包埋されていた人体から発見した研究者から受け取り、それを元にインフルエンザウイルスを人工的に合成に成功したのが、世界に冠たる研究者である東大の河岡義裕教授であります。河岡先生によると当時今では想像できない方々が世界中で亡くなったのは、医療体制が低かったのか、それともウイルスが特別な物だったのかを、それを究明しない限り、次の対策が打てないとの理由からだそうです。結果として解かったことは、スペイン風邪のウイルスは稀にみる強毒性を持っていて、このウイルスは去るまで殺してしまったとの事です。因みに他のウイルスではサルは志望せず、10匹にウイルスに感染させた実験で全て死亡したそうです。

WHOシニアアドバイザーの進藤奈邦子博士と葛西西太平洋地域事務局長のコメントを紹介します。まず、進藤先生によると日本の状況は諸外国から見ると、奇跡的に低いレベルにありジャニーズミラクルと言われているそうです。その理由として二つ、世界に仰ぎ見られる感染症の専門家の方々の活躍と毎年のインフルエンザ流行を経ての国民の意識であると解説されています。また、PCRの検査数は批判されることであるが、戦力的な検査は高く評価されるべきであると。

また、葛西先生は地域事務局長として、先の中国での習近平主席とテドロスWHO事務局長との会談に同席されている方で、37の国と地域、19億人の感染症をコントロールしている方だそうです。葛西先生によると、今回のコロナウイルスは100年に一度の歴史上の記憶に残る出来事になるだろうと。また、進藤先生同様に世界が日本の状況を注目し非常に高い関心を持っている、一人ひとりの意識が高く、カウラスターがないか探し出して対応し、医療崩壊を防いでいると。(吉村昭氏 破船より)

今回のコロナ禍で、思い出したのが上記の作品でした。貧しい漁村に嵐による難破船の漂着から、疫病(感染症)により、村社会が存亡の手前まで行く話です。特に思い出したのが、長老の記憶話で、以前疫病が流行った村では、死亡するのが2割3割は罹患して後まで残る、天の手配により、半数は何事なく助かる。と文中にあります。今回の禍も無症状や軽傷の方々が8割とするならば、なんだか共通項があり思いを深めた次第であります。

少しだけ、安全対策に努めました。

関越高速道路下、トンネル区域、以前から右折・直進の標示の要望をお聞きしておりました中、漸く警察との協議が整い右折（大泉郵便局方面）と直進（大泉体育館方面）が明確に分かる様、ライン標示が成されました。よく利用されている方はラインが無くても迷うことなく右折、直進が出来るのですが、時に不慣れな方は途中で進路変更をせざるを得なく意見が寄せられておりました。お気づきだったでしょうか。



関越学園坂下南信号

どんなご相談でも…

藤井たかし事務所

〒178-0065 練馬区西大泉 3-29-20

Tel : 5905-0533 Tel・Fax : 5947-3330